

救急隊との症例検討会

アルメイダ病院では年に3回、救急隊との症例検討会を開催し、救急隊と病院で顔の見える関係を築けるよう取り組みを行っております。

今回は以下の日程・テーマで行われ、各消防本部から59名のご参加をいただきました。病院側の参加者を合わせると100名を超える検討会となりました。現場での指揮命令権や、救急隊員と病院のチーム医療での問題点など、発表後の質疑応答でも多くのご意見を交換することができました。

ミニレクチャーではワークステーション救急隊の初出場事例で靴が履きづらく手間取ったなど、ユーモアを交えて会場をわかしました。

日 時：平成28年5月18日（水）18:00～

場 所：大分市医師会 研修会館5階研修ホール

テーマ：医師の現場出動症例

発表者：大分市中央消防署 医師の現場出動症例

大分市東消防署 ドクターカー連携事案を経験して

大分市南消防署 ワークステーション救急隊出動事例

アルメイダ病院 救命救急センター長 稲垣伸洋

平成二八年度 第二回 症例検討会
今回のテーマ「医師の現場出動症例」



ラピッドレスポンスカー (RRC)



以上